

Osaka city Education Network

OPEN

子どもたち・学校・先生のための

「オーエン団」



活用事例集

令和7年10月

実施日	実施学校園	連携相手	カテゴリ	テーマ
 10月8日	榎並小学校	近畿総合通信局 (講師所属企業:KDDI株式会社)	出前授業	「e-ネットキャラバン」 ～安心・安全なインターネットの利活用を学ぶ無料講座～
 10月8日	今里小学校	大阪大学 人間科学研究科 准教授 後藤 崇志	出前授業	カードゲームを使って目標達成の方法を学ぶプログラム
 10月14日	依羅小学校	株式会社 NEXT INNOVATION	出前授業	防災について
 10月22日	喜連北小学校	コニカミノルタジャパン 株式会社	教職員研修	教育現場での生成AI活用研修
 10月22日	清江小学校	株式会社 NEXT INNOVATION	出前授業	防災について「地域防災リーダーの働き、防災設備等」

◆項目をクリックすると、学校園で実施した活用事例をご覧いただけます

実施日	実施学校園	連携相手	カテゴリ	テーマ
 10月22日	豊崎本庄小学校	産経新聞大阪本社	出前授業	メディアリテラシーを高めよう
 10月28日	内代小学校	福岡教育大学 教育学部 教授 清水 紀宏	教職員研修	算数科学習指導に関する指導助言
 10月30日	玉造小学校	株式会社毎日放送	出前授業	MBS出張授業「ニュース番組はどう作られるのか」
 10月30日	東陽中学校	株式会社ロイヤルホテル	出前授業	ホテルが大切にしている接遇
 10月31日	平林小学校	ダイキチカバーオール	出前授業	掃除の今昔

◆項目をクリックすると、学校園で実施した活用事例をご覧いただけます

「e-ネットキャラバン」～安心・安全なインターネットの利活用を学ぶ無料講座～（出前授業）

取組実施日

令和7年10月8日（水）

実施学校園

榎並小学校

対象学年

5年・6年

連携相手

近畿総合通信局（講師所属企業：KDDI株式会社）

取組内容

スマホの正しい取り扱い方や、情報モラルなどについて、それぞれのテーマに沿った動画を3本視聴した。

毎視聴後にどんな点に気をつけるべきだったのかを話し合い、インターネット上の情報モラルにおける恐ろしさなどについて気づいた点を交流した。その後、講師の先生から助言をいただいた。

学校園の感想

児童が興味を持ちやすいテーマに沿って、いろいろな観点からお話をいただき非常にわかりやすい内容だった。

また児童が意見を言う場を多く設定していただいたことによって、自分たちの考え方を振り返ることができた。

講師の方から場面ごとの正しい行動の確認もあり、情報モラルについてより深く学ぶことができた。

連携相手の感想

講座では、時間が足りないと感じるほど、児童たちが積極的に手を挙げ、自らの意見や感想を発表してくれた。

動画を視聴した後の感想や意見交換を通じて、情報モラルやスマホの正しい使い方について深く理解してもらえたことは、非常に嬉しい成果であった。今後もこのような教育の場を通じて、子どもたちの安全とモラル意識の向上に少しでも寄与できれば幸いである。



カードゲームを使って目標達成の方法を学ぶプログラム（出前授業）

取組実施日

令和7年10月8日（水）

実施学校園

今里小学校

対象学年

5年・6年

連携相手

大阪大学 人間科学研究科 准教授 後藤 崇志



取組内容

目標達成の方法について学ぶカードゲームを紹介された。実際にカードゲームをするときには、各グループに大学生が付いて、ルールを教えたり、子どもの考えを引き出したりするなど、手厚くサポートして学習を進めてくれた。



学校園の感想

大学生が手厚くサポートをしてくれたおかげで、子どもたちには楽しみつつ、学びの多い時間となった。目標達成の邪魔をしてくる誘惑に対して、どのように対処をするのかについて、子どもたちは楽しく学ぶことができた。



連携相手の感想

先生方にも事前のグループ分けや当日のサポートなどご支援いただきながら、出前授業を実施した。子どもたちからは「自分の目標について考える大事な時間だった」「戦略を考えいろいろな視野を広げることができた」などの感想をいただいた。みんなが将来に向けて努力を続けるためのお役に立てたなら幸いである。



防災について（出前授業）

取組実施日 令和7年10月14日（火）

実施学校園 依羅小学校

対象学年 4年

連携相手 株式会社NEXT INNOVATION

取組内容 写真や動画を見ながら地震や火災などの災害に備えるための知識を深めるとともに、火災報知機や水消火器などを用いた体験を通して防災への意識を高めることができた。

学校園の感想 実際に火災報知機や消火器を触る機会は多くないため、子どもたちは興味津々だった。また、実際に写真を見せていただいたり、ミニチュアを用意していただいたりしたので、災害の恐ろしさや悲惨さにもふれながら、楽しく学習することができた。

連携相手の感想 こちらの問いかけに、友だちと相談するところと話を聞くところの切り替えができるなど、子どもたちの反応がよく、楽しく授業を進めることができた。大人にとって当たり前に思っているところに疑問を持つ子がたくさんおり、授業者にとっても気づきの多い時間となった。



教育現場での生成AI活用研修（教職員研修）

取組実施日 令和7年10月22日（水）

実施学校園 喜連北小学校

連携相手 コニカミノルタジャパン株式会社

取組内容 はじめに、生成AIの仕組みや活用方法について講義を受けた。

その後、教員一人一人が市内学校で導入されている生成AIを具体的に使用して、その扱い方を学んだ。

学校園の感想 半数近い教員が生成AIを活用したことがない実態を踏まえ、生成AIの基本的な仕組みや活用方法等について講話いただいた。また、実際に授業で活用されている生成AIを使用することで、生成AIの授業場面での活用法についてイメージを持つことができた。



防災について「地域防災リーダーの働き、防災設備等」（出前授業）

取組実施日 令和7年10月22日（水）

実施学校園 清江小学校

対象学年 4年

連携相手 株式会社NEXT INNOVATION

取組内容 『自然災害から命とくらしを守る』の学習のまとめとして、防災に関する出前授業をお願いした。

「水防団」や「地域防災リーダー」に関する内容については、教科書を使っての学習だけでは不十分だったが、実際の活動や訓練の様子を紹介していただき、児童は理解が深まった様子だった。また、校内にある消防設備に関することも説明していただき、「自分たちの学校の安全がどのように守られているのか」理解を深めることもできた。

学校園の感想 社会科の学習では、教科書と資料集とを活用しての学習が中心となるが、実際に防災に携わっている方の話を聞きしたり、防災に関する設備に触れたりできることは、とても有意義な学習となる。リアルな体験を通して、「自分の生活を振り返る」「自分の生活に活かす」ことに繋げられる学習となった。

連携相手の感想 授業をする側として今まで感じなかった点などがあり、自分自身にとっても有意義な時間を過ごす事ができた。小学生への1時間授業の場合、事前打合せがより重要であると同時に、弊社が用意する資料も改善すべきだと感じた。また、児童向けの出前授業を実施する前に、教職員向けに授業をさせていただき内容を体験・体感をしてもらい、児童にどのようなことを伝え、体験してもらうべきななどの事前の打合せができれば、より有意義な授業になると感じた。



メディアリテラシーを高めよう（出前授業）

取組実施日 令和7年10月22日（水）

実施学校園 豊崎本庄小学校

対象学年 5年

連携相手 産経新聞大阪本社

取組内容 以下の内容についてお話しされた。

- ・自己紹介（記者として取り組んできたこと）・情報の見え方・新聞ができるまで・新聞社の役割
- ・新聞の読み比べ（誰に伝えるかで変わる 何を伝えたいかで変わる）・情報を見るときに大切なこと

学校園の感想 新聞を取っている家庭が少なく、初めて新聞を手に取ったという児童もいた。

新聞が発行されるまでの流れを教えていただいたときに、児童は、取材、デスクの確認、レイアウト作成、校閲、
ゲラ刷りと流れを見ただけで、「1日で全部するの？」と驚きを隠せない様子であった。

新聞の読み方を教えていただき、興味を持った児童も増えたように思う。

連携相手の感想 積極的に質問や発言をしてくれて、新聞や新聞記者に興味を持ってくれていることをうれしく思った。

新聞の読み比べは大人でも難しいと思うが、「一つの情報だけ見ても真実はわからない」ということの
片りんを感じてもらえたなら幸いである。

いろいろなことに興味を持って、自分で考えていく人になってくれることを願う。



取組実施日 令和7年10月28日（火）

実施学校園 内代小学校

連携相手 福岡教育大学 教育学部 教授 清水 紀宏

取組内容 3年算数科「円と球」において、円の定義につながる体験的な学習を行った。中心からの距離が同じ位置に点を複数書くと、丸い形になることを通して、円の性質である半径の長さへと導く学習を行った。
また、日常生活にある丸い形がなぜそのような形をしているのかに疑問を持たせ、円の性質に深く関心を持たせるようにした。

学校園の感想 清水先生からはイメージ化が算数科における定義と結びつくことの大切さを教わった。本時においてもイメージ化から定義へどうつなぐのか、様々な図形を用いて押さえるべきポイントについて丁寧な説明があった。
また、本校がめざしているICT活用においては、デジタルによる視覚支援が二次元であることが示され、3次元の理解のために実物の提示が必要であることを教わった。算数科における専門知識を必要とする内容であり、高度なレベルであったが、たいへんよい刺激となった。



MBS出張授業「ニュース番組はどう作られるのか」（出前授業）

取組実施日 令和7年10月30日（木）

実施学校園 玉造小学校

対象学年 5年

連携相手 株式会社毎日放送



取組内容

①ニュースや番組はどう作られるのか？

報道記者や番組ディレクターが、取材から放送までの流れを紹介

②放送の裏側を知る

「なぜ危険な場所でも取材するのか」「情報を正しく伝えるために何を工夫しているか」などを解説

③情報を自分で判断する力を育てる

子どもたちが、身近な動画やニュースをどう見極めるかを考えるきっかけを提供



学校園の感想

世界で何が起きているのかを知るために、報道がどれだけ大切か理解できた。

また、情報を正しく、素早く伝えるための仕組みを知ることができた。

受け取った情報を、自分で正しく判断することの重要性を学ぶことができた。



連携相手の感想

「ニュースができるまで」の授業では、最近のニュースについての質問に、「熊！」「高市総理！」と即答するなど、子どもたちは、最近のできごとについてとてもよく知っていた。また、今回は特別メニューとして、アナウンサー体験だけでなく「カメラマン体験」も実施した。「たくさん的人が集まってる感じに撮るには？」という課題にも取り組んだ。子どもたちが、たくさん挙手し、積極的に学んでくれて、楽しい出前授業となった。



ホテルが大切にしている接遇（出前授業）

取組実施日 令和7年10月30日（木）

実施学校園 東陽中学校

対象学年 2年

連携相手 株式会社ロイヤルホテル

取組内容 職場体験学習に向けて事前、事後挨拶や体験中の言葉遣いやマナーなどを中心としてロールプレイングも交えた講話。



学校園の感想 企業の方に挨拶や言葉遣いなどについて講話いただくことにより、学校内で指導されるとは違う形で生徒たちは学ぶことができた。また、質疑応答などでホテル業について積極的に質問をしていたので職業講話の点でも学ぶことができた。



連携相手の感想 電話対応や訪問等のロールプレイングでも笑顔で積極的に声を出して一生懸命取り組んでもらった。難しい言葉遣いであったと思うが、繰り返し練習してくださった。質問も想像以上に手が上がり、答えるこちらがどぎまぎしたが、これから職場体験学習のお役に立てれば嬉しく思う。



取組実施日

令和7年10月31日（金）

実施学校園

平林小学校

対象学年

6年

連携相手

ダイキチカバーオール

取組内容

自身が異世界転生したと仮定して、生活をするために必要なことを考えることをきっかけに、食生活、住環境等大切なことに気づかせる。今回は住環境にスポットを当て、快適に生活するために「掃除」が大切なことを学ぶ。また、日本で「掃除」をする文化が根付いた理由についても教えていただく。さらに、未来の掃除について考えることを通して、他者と交流して考えを深める取り組みを行う。

学校園の感想

グループに分かれて様々な意見交流を行うことで、考えを深めることができて、楽しそうに活動ができた。また、掃除の起源について教えていただいた時には、興味深く話を聞き入っていた。最後の掃除の未来を考える活動で、掃除で困っていることを共有している際に、道具で困っていることが話題に上がった。今後、業者が使う道具では、困りごとが解決できている事例の話があるとさらに面白いと感じた。

連携相手の感想

高学年向けの授業は初めてで、ちゃんと伝えられるか不安もあったが、子どもたちが熱心に耳を傾けてくれている様子が伝わり、安心した。チームディスカッションでは、子どもたちから多様な意見が主体的に交わされ、その素直な心に触れることができ、私たちも多くの学びと気づきを得ることができた。まずは「清掃のことを知ってもらおう」と始めた授業だが、もっと触れて学んでもらえる内容も検討している。今後もたくさんの児童にお伝え出来ることを楽しみにしている。

